

5. 路線整備の主たる目的（ミッション）と整備方針

5. 1 路線整備の主たる目的（ミッション）

意義・必要性を踏まえ、北大阪急行線延伸線整備の主たる目的（ミッション）は、以下のとおりである。

- ①鉄道不便地域を解消するとともに、増加する都心方面への交通需要に対応するために、当該地域から大阪都心部方面へのアクセス機能の強化による時間短縮や新幹線との結節強化を図ることで、これまでのバスを主体とした通勤交通システムから、鉄道を主体とした交通システムへと大幅なグレードアップを図る。
- ②新御堂筋と平行した当該路線を延伸し、自動車交通を鉄道へ転換することにより、道路交通混雑の緩和や環境負荷の軽減を図る。
- ③新駅を設置し、鉄道駅までの徒歩アクセス圏の拡大や駅を中心とした交通結節機能の強化を図ることで、自家用車への過度な依存から脱却し、公共交通との連携の上に成り立つさらにコンパクト型の高品質なまちづくりへ寄与する。
- ④第二名神自動車道や国道 423 号バイパスの整備により、都心部へ流入する自動車交通量が増加することを踏まえ、当該路線の延伸により広域交通のネットワークを強化し、広域交通における自動車との適切な交通機能分担を図るとともに、かやの中央と千里中央や船場団地とが連携した、北大阪地域における地域核の形成促進に寄与する。

5. 2 整備方針

○新駅の設置

駅への徒歩アクセス圏の拡大、まちづくりとの連携のために、船場団地およびかやの中央に新駅を設置する。

○北大阪急行線、大阪市交 1 号線とのシームレスな連絡の確保

都心部へのアクセス時間の短縮、結節強化のためには、既存線である北大阪急行線、大阪市交 1 号線とのシームレスな連絡が確保できるような運行計画、施設計画とする。

○路線バス、自家用自動車との乗換利便性の確保

路線バスからの乗換において、利用者の利便性が十分に確保できるような施設計画とする。また、自家用自動車との乗換利便性についても配慮する。

○ユニバーサルデザイン

少子高齢化社会の到来、誰もが安心して暮らせる人と環境にやさしいまちづくりの方向性を踏まえ、鉄道施設計画、交通結節施設計画、動線計画等においては、ユニバーサルデザインに配慮する。

○箕面市および周辺地域のまちづくり、都市基盤整備との整合および開発促進

箕面市および周辺地域における開発計画、道路計画、駅前広場計画等の都市基盤整備計画との整合に配慮し、箕面市・周辺地域の開発促進や高質なまちづくりへの転換促進を図る。